

正しい信仰によつて悩みを解決

御本尊の功德について大聖人は、

「わざはひも転じて幸ひとなるべし。あひかまへて御信心を出だし此の御本尊に
祈念せしめ給へ。何事か成就せざるべき」（経王殿御返事・御書六八五^{べー}）

と仰せです。

私たちが御本尊を信じ、南無妙法蓮華經のお題目を唱える時、今まで悩んでいたあ
らゆる問題を正しく解決でき、充実した幸せな人生が送れるのです。

これらのことを行寧にお教えする所
が、日蓮正宗の寺院です。どうか一人で
悩んでいないで、お寺に来てみませんか。
必ず解決の道が見つかります。

あなたの御来訪を、心よりお待ちして
おります。



日蓮正宗の お寺に来て みませんか

—あらゆる悩みを
解決するために！—



日蓮正宗
NICHIREN SHOSHU



日蓮正宗HP
QRコード

大日蓮出版

[2] H26.9

はじめに

人は誰しも、何らかの悩みを抱えながら生きています。たとえば、病気や経済苦、人間関係の悩みなど、あればキリがないでしょう。特に悩みがないという人でも、老いや死の苦しみから逃れることはできません。

しかし、いかなる苦悩が生じようとも、それらすべてを根本的に解決して、力強く人生を切り開き、必ず幸せな境界を築くことができる教えがあります。

それが日蓮大聖人の仏法です。

南無妙法蓮華經の教えは 仏教の最高峰

究極の經典である法華經には、釈尊滅後二千年を経た末法の世に、法華經の行者々、すなわち日蓮大聖人が出現することが予言されています。

その大聖人は、

「今、末法に入りぬれば余經も法華經もせんなし。
但南無妙法蓮華經なるべし」

(上野殿御返事・御書一二一九)

と、末法においては、ただ南無妙法蓮華經だけが人々を救う教えであると御教示されています。

大聖人は弘安二(一一七九)年十月、南無妙法蓮華經の教えを御本尊として顯され、一切衆生に与えられました。